

おはつら

令和2年12月7日(月) 第39号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



ご多忙のところ来校いただき、ありがとうございました。

4日(金)、第2回授業参観を行いました。今回、1・4年生は複式での体育科、6年生は特別の教科 道徳の授業を参観いただきました。実は今回の6年生の道徳の授業は校長からのリクエストによるものでした。

平成30年度から「特別の教科」になった道徳ですが、教科化にあわせて「考え、議論する道徳」へと授業の質的な転換が求められています。

従来の道徳では、読み物を通して感想を出し合い、終末は教師の説話で終わるワンパターンの授業が多く見られ、一方的な価値の押しつけだとの批判もありました。

この「考え、議論する道徳」では、「子どもたちがよりよく生きるために、答えが一つではない道徳的な課題を自分自身の問題として捉え、それに向き合いながら考え、判断し、行動・実践できる資質・能力を育む」ことを目標にしています。まだまだ途上ですが、友だちや先生、家族など、多様な人々の価値観に触れ、自ら考え、「自分」を確かなものにする、そんな道徳の授業を目指したいと思います。他の学年も次の機会に…。

県教委の家庭向け資料「道徳のとびら」を配布しました。団らんの話題にしていただけましたら幸いです。



学校評価

教育活動の改善・充実を目指して

保護者の皆様におかれましては、大変お忙しい中にも関わらず、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

本校では、今月中旬から2月にかけて来年度の教育活動の基本となる「教育課程」の編成の時期を迎えます。今回いただきましたアンケート結果をもとに教育活動の更なる改善と充実を図っていきたく考えます。今後ともご理解とご協力をいただけますと幸いです。

尚、アンケートの詳細な分析結果につきましては、学校評議員の皆様のご意見と合わせ、後日改めてお知らせいたします。



「寒桜」寒さの中でも

英語教育サポーター派遣

先月から、NPO法人「共創のまちサポート」から英語教育サポーターを派遣していただき、6年生の授業支援をお願いしています。

今年度、高学年において外国語(英語)が教科化されました。3・4年生での外国語活動における「聞く」「話す」経験をもとに、高学年では、文字を「書く」「読む」を含め、外国語を総合的・系統的に学んでいます。

特に6年生では、中学校英語科への接続を踏まえ、ALTや英語教育のボランティア等を活用しながら授業の充実を図っていきたく考えます。



今朝、集団登校で集まってきた子どもたちに、お弁当を忘れずに持ってきたか聞いたところ、6年生から「持ってきました。せっかく自分で作ったのに忘れたら悲しいよね。」と返ってきました。

おうちの人に作ってもらったお弁当も開ける時とても楽しみです。早起きして自分で作ったお弁当は、また格別だったようです。

寒さで早起きが辛い朝でした。普段、作ってくれている人への感謝の気持ちを忘れずに…。



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.092 μ Sv/h 12/7 9:50

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

